平成22年度中学校学習状況調査　第２学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点		
					科学的な思考	技能表現	知識理解
第1学年の内容	化学分野	(2) ア（イ）	・エタノールの性質に対応した安全な実験方法についての知識を身に付けている。	(1		○	
		(2) イ（ア）	・溶解度のグラフから，水にとける物質の質量を読み取ることができる。	(3	○		
		(2) イ（ア）	・溶解度のグラフから，水溶液の温度を下げたとき再結晶する溶質の質量を予測することができる。	(4	○		
	物理分野	(1) ア（ウ）	・音の大小と振幅の関係，音の高低と振動数の関係を理解している。	(5			○
	地学分野	(2) イ（イ）	・地震の揺れの大きさ（震度）と規模（マグニチュード）についてその違いを理解し，知識を身に付けている。	(6			○
		(2) イ（イ）	・Ｐ波とＳ波の到着時刻と震源距離との関係を示したグラフから，ゆれ始めの時刻を読み取ることができる。	(7	○		
		(2) イ（イ）	・Ｐ波とＳ波の到着時刻の差から，初期微動継続時間を求めることができる。	(8	○		
		(2) ア（ア）	・地層の重なり方の規則性を見いだし，地層の広がりを推定できる。	(9	○		
		(2) ア（ア）	・堆積岩と比較して，堆積岩の特徴を理解している。	(10			○
第2学年の内容	物理分野	(2)	・電流計の使い方を理解している。	(11		○	
		(3) ア（ウ）	・回路の電流や電圧の測定結果をグラフに表すことができる。	(12		○	
		(3) ア（ウ）	・回路の電流や電圧の関係を示した表やグラフから，電熱線の抵抗を求めることができる。	(13	○		
		(3) イ（イ）	・磁石とコイルを用いた電磁誘導の実験結果から，電流の向きを推定できる。	(14	○		
		(3) イ（イ）	・コイルや磁石を動かすことによりコイルの磁界が変化し，電流が得られることを理解している。	(15			○
	生物分野	(3) イ（ア）	・両生類の特徴を理解し，同じなかまの動物を推定することができる。	(17	○		
		(3) ア（ウ）	・ヨウ素ーデンプン反応やベネジクト液による糖の検出について理解している。	(18		○	
		(3) ア（ウ）	・だ液の働きを確かめる実験で，対照実験について理解している。	(19	○		
		(3) ア（ウ）	・肝臓の働きについて理解している。	(20			○

移行・追加された内容（領域及び内容は，新学習指導要領に対応している。）

中1	A	(2) ア（イ）	・物質の状態と粒子の運動のようすを理解している。	(2			○
中2	B	(3) イ（ア）	・セキツイ動物と無セキツイ動物の特徴をもとに，分類する観点を指摘することができる。	(16	○		

※新学習指導要領の領域は，「A　物質・エネルギー」，「B　生命・地球」